

シラバス

科目名	CAD実習		担当者名	高井 英光				
学科	建築学科建築設計コース		授業方法	実習				
認定単位 開講学年	1.5単位 1学年	開講期 必・選	必修		授業時間数 54時間			
授業目的	2次元CADである「JWW」を使用し、図面読取および基本操作を学ぶ。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	CAD検定3級およびCAD検定2級合格レベルの技術を習得させる。							
授業概要	「階段平面図」・「通り芯・寸法・通り芯記号」・「柱・壁・間仕切壁」などおよび「平面詳細図」・「立面図」をCADを利用し作成させる。							
授業 計 画 表	授業内容		授業内容					
	1 オリエンテーション	19	平面詳細図Aの作図1					
	2 JWW-CADの基本操作1	20	平面詳細図Aの作図2					
	3 JWW-CADの基本操作2	21	平面詳細図Aの作図3					
	4 JWW-CADの基本操作3	22	立面図Aの作図1					
	5 「階段平面図」の作図1	23	立面図Aの作図2					
	6 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図1	24	立面図Aの作図3					
	7 「柱・壁・間仕切壁」の作図1	25	平面詳細図Bの作図1					
	8 「壁と窓」の作図1	26	平面詳細図Bの作図2					
	9 「階段平面図」の作図2	27	平面詳細図Bの作図3					
	10 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図2	28	立面図Bの作図1					
	11 「柱・壁・間仕切壁」の作図2	29	立面図Bの作図2					
	12 「壁と窓」の作図2	30	立面図Bの作図3					
	13 「階段平面図」の作図3	31	平面詳細図Cの作図1					
	14 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図3	32	平面詳細図Cの作図2					
	15 「柱・壁・間仕切壁」の作図3	33	平面詳細図Cの作図3					
	16 「壁と窓」の作図3	34	立面図Cの作図1					
	17 CAD3級総合問題	35	立面図Cの作図2					
	18 確認テスト	36	確認テスト・まとめ					
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	成績表送付				
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上S90～100点A80～89 B70～79点C60～69点D59点以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》0%							
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了 全日本建築士会 1級建築士講座講師							

シラバス

科目名	材料工学	担当者名	外塚 浩幸			
学科	建築学科建築設計コース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数 72時間		
授業目的	建築材料の規格や物理的性質を理解する。					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	建築材料の規格や物理的性質は一般構造を理解する上で重要である。特に近年、構造や仕上げの材料が変化しており、建築材料に関する知識も重要性を増している。既存の材料の知識習得に加え、新しい建材開発の背景について触れ、建築実務への意識を涵養する。					
授業概要	前期は構造材の種類とその性質、用途について具体例を挙げながら解説する。後期は仕上げ材および性能材について建築の各部位に必要な性能との関連について解説する。					
授業 計 画 表		授業内容		授業内容		
	1	材料工学のガイダンス	19	レンガ・タイル		
	2	建築材料の歴史と種類、用途、環境と建材について	20	瓦・石材		
	3	木材1 木材の種類と主な性質1	21	土壁・左官材料		
	4	木材2 木材の種類と主な性質2	22	ガラス		
	5	木材3 構造材の規格と強度1	23	下地用ボード類 石こうボード、ケイ酸カルシウム板等		
	6	木材4 構造材の規格と強度2	24	塗料・接着剤・充填剤		
	7	金属1 鋼材の種類と主な性質1	25	防水材		
	8	金属2 鋼材の種類と主な性質2	26	吸音材・遮音材		
	9	金属3 鋼材の接合	27	断熱材、防火材・耐火材		
	10	金属4 鉄以外の金属(アルミニウム、銅、チタン 金属加工品)	28	木構造と新しい材料1		
	11	コンクリート1 コンクリートとその構成材料	29	木構造と新しい材料2		
	12	コンクリート2 セメントの性質	30	木構造と新しい材料3		
	13	コンクリート3 骨材の性質	31	鉄骨造と新しい材料1		
	14	コンクリート4 フレッシュコンクリートの性質	32	鉄骨造と新しい材料2		
	15	コンクリート5 コンクリートの硬化とその性質	33	鉄筋コンクリート造と新しい材料1		
	16	木材5 仕上げ材1	34	鉄筋コンクリート造と新しい材料2		
	17	木材6 仕上げ材2	35	膜構造と新しい材料		
	18	木材7 エンジニア-ウッド	36	まとめ		
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》30% R《実働実践型学習》40% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》—					
講師プロフィール	一級建築士事務所主宰 建築実務と建築系高等教育機関講師歴30年以上 建築適合判定資格者 一級建築士 二級建築士 インテリアコーディネーター					

シラバス

科目名	PC基礎	担当者名	千葉 輝子			
学科	建築学科建築設計コース	授業方法	実習			
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 36時間		
授業目的	Word・Power Point・Excelを実務で役立つ機能を身に付ける					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	前期:Word・PowerPointの基本操作及び効率の良い操作方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> Wordで効率良くビジネス文書を作成できるようになるだけでなく、社会人として恥ずかしくないよう、ビジネス文書及びメールが作成できるようになるスキルを身に付ける PowerPointで効率の良いプレゼン資料を作成できるようになるだけでなく、最近よく見られるA4用紙一枚に企画書やチラシを作成するスキルも身に付ける Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 					
授業 計 画 表		授業内容	授業内容			
	1	ガイダンス	19	ビジネスメールのルール		
	2	ガイダンス	20	Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法(アウトライン)		
	3	ガイダンス	21	図形の挿入		
	4	科目ガイダンス	22	画像の編集および表の挿入		
	5	文字入力の基本 1	23	画像の編集および表の挿入		
	6	文字入力の基本 2	24	Power PointでA4用紙1枚にチラシを作成)		
	7	ビジネス文書のルール	25	小テスト(Power Point 総合課題)		
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)		
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	表作成課題(四則演算/表の装飾)		
	10	インデント・タブの設定方法	28	表作成課題(相対参照と絶対参照)		
	11	表作成の基本	29	課題(計算、表の装飾、グラフ)		
	12	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	30	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)		
	13	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	31	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)		
	14	図の挿入および図形の編集	32	後期期末試験(Excel課題)		
	15	Word 総合問題 1	33	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り		
	16	Word 総合問題 2	34	ガイダンス		
	17	前期期末試験(Word課題)	35	ガイダンス		
	18	前期期末試験の解答解説及び後期振り返り	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P«課題解決型学習»50% R«実働実践型学習» A«主体的参加型学習»50% G«海外体感型学習»					
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

シラバス

科目名	材料工学	担当者名	外塚 浩幸			
学科	建築学科建築施工コース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数 72時間		
授業目的	建築材料の規格や物理的性質を理解する。					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	建築材料の規格や物理的性質は一般構造を理解する上で重要である。特に近年、構造や仕上げの材料が変化しており、建築材料に関する知識も重要性を増している。既存の材料の知識習得に加え、新しい建材開発の背景について触れ、建築実務への意識を涵養する。					
授業概要	前期は構造材の種類とその性質、用途について具体例を挙げながら解説する。後期は仕上げ材および性能材について建築の各部位に必要な性能との関連について解説する。					
授業 計 画 表	授業内容		授業内容			
	1 材料工学のガイダンス	19	レンガ・タイル			
	2 建築材料の歴史と種類、用途、環境と建材について	20	瓦・石材			
	3 木材1 木材の種類と主な性質1	21	土壁・左官材料			
	4 木材2 木材の種類と主な性質2	22	ガラス			
	5 木材3 構造材の規格と強度1	23	下地用ボード類 石こうボード、ケイ酸カルシウム板等			
	6 木材4 構造材の規格と強度2	24	塗料・接着剤・充填剤			
	7 金属1 鋼材の種類と主な性質1	25	防水材			
	8 金属2 鋼材の種類と主な性質2	26	吸音材・遮音材			
	9 金属3 鋼材の接合	27	断熱材、防火材・耐火材			
	10 金属4 鉄以外の金属(アルミニウム、銅、チタン 金属加工品)	28	木構造と新しい材料1			
	11 コンクリート1 コンクリートとその構成材料	29	木構造と新しい材料2			
	12 コンクリート2 セメントの性質	30	木構造と新しい材料3			
	13 コンクリート3 骨材の性質	31	鉄骨構造と新しい材料1			
	14 コンクリート4 フレッシュコンクリートの性質	32	鉄骨構造と新しい材料2			
	15 コンクリート5 コンクリートの硬化とその性質	33	鉄筋コンクリート構造と新しい材料1			
	16 木材5 仕上げ材1	34	鉄筋コンクリート構造と新しい材料2			
	17 木材6 仕上げ材2	35	膜構造と新しい材料			
	18 木材7 エンジニア-ウッド	36	まとめ			
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》30% R《実働実践型学習》40% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》—					
講師プロフィール	一級建築士事務所主宰 建築実務と建築系高等教育機関講師歴30年以上 建築適合判定資格者 一級建築士 二級建築士 インテリアコーディネーター					

シラバス

科目名	CAD実習		担当者名	高井 英光				
学科	建築学科建築施工コース		授業方法	実習				
認定単位 開講学年	1.5単位 1学年	開講期 必・選	必修		授業時間数 54時間			
授業目的	2次元CADである「JWW」を使用し、図面読取および基本操作を学ぶ。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	CAD検定3級およびCAD検定2級合格レベルの技術を習得させる。							
授業概要	「階段平面図」・「通り芯・寸法・通り芯記号」・「柱・壁・間仕切壁」などおよび「平面詳細図」・「立面図」をCADを利用し作成させる。							
授業 計 画 表	授業内容		授業内容					
	1 オリエンテーション	19	平面詳細図Aの作図1					
	2 JWW-CADの基本操作1	20	平面詳細図Aの作図2					
	3 JWW-CADの基本操作2	21	平面詳細図Aの作図3					
	4 JWW-CADの基本操作3	22	立面図Aの作図1					
	5 「階段平面図」の作図1	23	立面図Aの作図2					
	6 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図1	24	立面図Aの作図3					
	7 「柱・壁・間仕切壁」の作図1	25	平面詳細図Bの作図1					
	8 「壁と窓」の作図1	26	平面詳細図Bの作図2					
	9 「階段平面図」の作図2	27	平面詳細図Bの作図3					
	10 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図2	28	立面図Bの作図1					
	11 「柱・壁・間仕切壁」の作図2	29	立面図Bの作図2					
	12 「壁と窓」の作図2	30	立面図Bの作図3					
	13 「階段平面図」の作図3	31	平面詳細図Cの作図1					
	14 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図3	32	平面詳細図Cの作図2					
	15 「柱・壁・間仕切壁」の作図3	33	平面詳細図Cの作図3					
	16 「壁と窓」の作図3	34	立面図Cの作図1					
	17 CAD3級総合問題	35	立面図Cの作図2					
	18 確認テスト	36	確認テスト・まとめ					
成績割合	テスト	10%	学習FB方法 成績評価					
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	60%						
	合計	100%		出席率80%以上S90～100点A80～89 B70～79点C60～69点D59点以下は不合格				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》0%							
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了 全日本建築士会 1級建築士講座講師							

シラバス

科目名	PC基礎	担当者名	千葉 輝子			
学科	建築学科建築施工コース	授業方法	実習			
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 36時間		
授業目的	Word・Power Point・Excelを実務で役立つ機能を身に付ける					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	前期:Word・PowerPointの基本操作及び効率の良い操作方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> Wordで効率良くビジネス文書を作成できるようになるだけでなく、社会人として恥ずかしくないよう、ビジネス文書及びメールが作成できるようになるスキルを身に付ける PowerPointで効率の良いプレゼン資料を作成できるようになるだけでなく、最近よく見られるA4用紙一枚に企画書やチラシを作成するスキルも身に付ける Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 					
授業 計 画 表		授業内容	授業内容			
	1	ガイダンス	19	ビジネスメールのルール		
	2	ガイダンス	20	Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法(アウトライン)		
	3	ガイダンス	21	図形の挿入		
	4	科目ガイダンス	22	画像の編集および表の挿入		
	5	文字入力の基本 1	23	画像の編集および表の挿入		
	6	文字入力の基本 2	24	Power PointでA4用紙1枚にチラシを作成)		
	7	ビジネス文書のルール	25	小テスト(Power Point 総合課題)		
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)		
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	表作成課題(四則演算/表の装飾)		
	10	インデント・タブの設定方法	28	表作成課題(相対参照と絶対参照)		
	11	表作成の基本	29	課題(計算、表の装飾、グラフ)		
	12	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	30	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)		
	13	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	31	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)		
	14	図の挿入および図形の編集	32	後期期末試験(Excel課題)		
	15	Word 総合問題 1	33	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り		
	16	Word 総合問題 2	34	ガイダンス		
	17	前期期末試験(Word課題)	35	ガイダンス		
	18	前期期末試験の解答解説及び後期振り返り	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P«課題解決型学習»50% R«実働実践型学習» A«主体的参加型学習»50% G«海外体感型学習»					
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

シラバス

科目名	PC基礎	担当者名	千葉 輝子	
学科	建築学科情報&環境建築コース	授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	必選	
授業目的	Word・Power Point・Excelを実務で役立つ機能を身に付ける			
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	前期:Word・PowerPointの基本操作及び効率の良い操作方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> Wordで効率良くビジネス文書を作成できるようになるだけでなく、社会人として恥ずかしくないよう、ビジネス文書及びメールが作成できるようになるスキルを身に付ける PowerPointで効率の良いプレゼン資料を作成できるようになるだけでなく、最近よく見られるA4用紙一枚に企画書やチラシを作成するスキルも身に付ける Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 			
授業 計 画 表		授業内容	授業内容	
	1	ガイダンス	19 ビジネスマールのルール	
	2	ガイダンス	20 Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法(アウトライン)	
	3	ガイダンス	21 図形の挿入	
	4	科目ガイダンス	22 画像の編集および表の挿入	
	5	文字入力の基本 1	23 画像の編集および表の挿入	
	6	文字入力の基本 2	24 Power PointでA4用紙1枚にチラシを作成)	
	7	ビジネス文書のルール	25 小テスト(Power Point 総合課題)	
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26 Excelの基本操作(文字入力/数式入力)	
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27 表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	10	インデント・タブの設定方法	28 表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	11	表作成の基本	29 課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	12	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	30 表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	13	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	31 課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	14	図の挿入および図形の編集	32 後期期末試験(Excel課題)	
	15	Word 総合問題 1	33 後期期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	Word 総合問題 2	34 ガイダンス	
	17	前期期末試験(Word課題)	35 ガイダンス	
	18	前期期末試験の解答解説及び後期振り返り	36 ガイダンス	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表送付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。			

シラバス

科目名	材料工学	担当者名	外塚 浩幸		
学科	建築学科情報&環境建築コース	授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数 72時間	
授業目的	建築材料の規格や物理的性質を理解する。				
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	建築材料の規格や物理的性質は一般構造を理解する上で重要である。特に近年、構造や仕上げの材料が変化しており、建築材料に関する知識も重要性を増している。既存の材料の知識習得に加え、新しい建材開発の背景について触れ、建築実務への意識を涵養する。				
授業概要	前期は構造材の種類とその性質、用途について具体例を挙げながら解説する。後期は仕上げ材および性能材について建築の各部位に必要な性能との関連について解説する。				
授業 計 画 表	授業内容		授業内容		
	1 材料工学のガイダンス	19	レンガ・タイル		
	2 建築材料の歴史と種類、用途、環境と建材について	20	瓦・石材		
	3 木材1 木材の種類と主な性質1	21	土壁・左官材料		
	4 木材2 木材の種類と主な性質2	22	ガラス		
	5 木材3 構造材の規格と強度1	23	下地用ボード類 石こうボード、ケイ酸カルシウム板等		
	6 木材4 構造材の規格と強度2	24	塗料・接着剤・充填剤		
	7 金属1 鋼材の種類と主な性質1	25	防水材		
	8 金属2 鋼材の種類と主な性質2	26	吸音材・遮音材		
	9 金属3 鋼材の接合	27	断熱材、防火材・耐火材		
	10 金属4 鉄以外の金属(アルミニウム、銅、チタン 金属加工品)	28	木構造と新しい材料1		
	11 コンクリート1 コンクリートとその構成材料	29	木構造と新しい材料2		
	12 コンクリート2 セメントの性質	30	木構造と新しい材料3		
	13 コンクリート3 骨材の性質	31	鉄骨構造と新しい材料1		
	14 コンクリート4 フレッシュコンクリートの性質	32	鉄骨構造と新しい材料2		
	15 コンクリート5 コンクリートの硬化とその性質	33	鉄筋コンクリート構造と新しい材料1		
	16 木材5 仕上げ材1	34	鉄筋コンクリート木構造と新しい材料2		
	17 木材6 仕上げ材2	35	膜構造と新しい材料		
	18 木材7 エンジニア-ウッド	36	まとめ		
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下 △不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》30% R《実働実践型学習》40% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》—				
講師プロフィール	一級建築士事務所主宰 建築実務と建築系高等教育機関講師歴30年以上 建築適合判定資格者 一級建築士 二級建築士 インテリアコーディネーター				

シラバス

科目名	CAD実習		担当者名	高井 英光				
学科	建築学科情報&環境建築コース		授業方法	実習				
認定単位 開講学年	1.5単位 1学年	開講期 必・選	必修		授業時間数 54時間			
授業目的	2次元CADである「JWW」を使用し、図面読取および基本操作を学ぶ。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	CAD検定3級およびCAD検定2級合格レベルの技術を習得させる。							
授業概要	「階段平面図」・「通り芯・寸法・通り芯記号」・「柱・壁・間仕切壁」などおよび「平面詳細図」・「立面図」をCADを利用し作成させる。							
授業 計 画 表	授業内容		授業内容					
	1 オリエンテーション	19	平面詳細図Aの作図1					
	2 JWW-CADの基本操作1	20	平面詳細図Aの作図2					
	3 JWW-CADの基本操作2	21	平面詳細図Aの作図3					
	4 JWW-CADの基本操作3	22	立面図Aの作図1					
	5 「階段平面図」の作図1	23	立面図Aの作図2					
	6 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図1	24	立面図Aの作図3					
	7 「柱・壁・間仕切壁」の作図1	25	平面詳細図Bの作図1					
	8 「壁と窓」の作図1	26	平面詳細図Bの作図2					
	9 「階段平面図」の作図2	27	平面詳細図Bの作図3					
	10 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図2	28	立面図Bの作図1					
	11 「柱・壁・間仕切壁」の作図2	29	立面図Bの作図2					
	12 「壁と窓」の作図2	30	立面図Bの作図3					
	13 「階段平面図」の作図3	31	平面詳細図Cの作図1					
	14 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図3	32	平面詳細図Cの作図2					
	15 「柱・壁・間仕切壁」の作図3	33	平面詳細図Cの作図3					
	16 「壁と窓」の作図3	34	立面図Cの作図1					
	17 CAD3級総合問題	35	立面図Cの作図2					
	18 確認テスト	36	確認テスト・まとめ					
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	成績表送付				
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上S90～100点A80～89 B70～79点C60～69点D59点以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》0%							
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了 全日本建築士会 1級建築士講座講師							

シラバス

科目名	ユニバーサルデザイン概論		担当者名	吉澤 千鶴子				
学科	建築学科一級建築士・大学コース		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修		授業時間数 36時間			
授業目的	福祉住環境コーディネーター2級試験合格のための対策講座							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	建築やインテリアに関わる職種に必携の福祉住環境コーディネーター2級を在学中に取得することを目標に定めている。							
授業概要	東京商工会議所から発行されてる公式テキストに沿って、内容を解説し、演習を繰り返しながら知識を定着させていく。 単なる暗記ではなく、学生が「福祉住環境」のありかたを自ら考えることができるようになるような指導を心がける。 居住学テキストの中にある福祉住環境に関する内容にもふれる。							
授業 計 画 表	授業内容			授業内容				
	1 オリエンテーション1	19	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備1 脳血管障害					
	2 オリエンテーション2	20	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備2 廃用症候群					
	3 オリエンテーション3	21	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備3 骨折					
	4 生活行為別の福祉住環境整備の手法1 外出①	22	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備4 認知症					
	5 生活行為別の福祉住環境整備の手法2 外出②	23	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備5 関節リウマチ					
	6 生活行為別の福祉住環境整備の手法3 屋内移動①	24	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備6 パーキンソン病					
	7 生活行為別の福祉住環境整備の手法4 屋内移動②	25	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備7 糖尿病					
	8 生活行為別の福祉住環境整備の手法5 排泄	26	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備8 心筋梗塞					
	9 生活行為別の福祉住環境整備の手法6 入浴	27	障害別にみた福祉住環境整備1 肢体不自由					
	10 生活行為別の福祉住環境整備の手法7 更衣	28	障害別にみた福祉住環境整備2 内部障害					
	11 生活行為別の福祉住環境整備の手法8 調理と食事	29	障害別にみた福祉住環境整備3 視覚障害					
	12 生活行為別の福祉住環境整備の手法9 団らん	30	障害別にみた福祉住環境整備4 聴覚・言語障害					
	13 生活行為別の福祉住環境整備の手法10 就寝	31	障害別にみた福祉住環境整備5 認知・行動障害					
	14 高齢者の心理機能と特性いろいろ	32	事例研究1					
	15 いろいろな高齢者の住まい	33	事例研究2					
	16 自立支援のための住居改善の必要性と支援体制	34	授業のまとめ1					
	17 自立支援のための住居改善のポイント	35	授業のまとめ2					
	18 高齢者・障害者とバリアフリーデザイン	36	授業のまとめ3					
成績割合	テスト	50%	学習FB方法 成績評価					
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	20%		出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》100% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》 G《海外体験型学習》							
講師プロフィール	大学卒業後、建築設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰。 住宅設計に携わりながら、工学系専門学校非常勤講師として設計の手法を指導。 また大学の公開講座等で、2級建築士や福祉住環境コーディネーターなど建築系の資格取得支援を行う。教材作成、出版、通信講座の添削等も。							

シラバス

科目名	PC基礎	担当者名	千葉 輝子			
学科	建築学科一級建築士・大学コース	授業方法	実習			
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 72時間		
授業目的	Word・Power Point・Excelを実務で役立つ機能を身に付ける					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	前期:Word・PowerPointの基本操作及び効率の良い操作方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> Wordで効率良くビジネス文書を作成できるようになるだけでなく、社会人として恥ずかしくないよう、ビジネス文書及びメールが作成できるようになるスキルを身に付ける PowerPointで効率の良いプレゼン資料を作成できるようになるだけでなく、最近よく見られるA4用紙一枚に企画書やチラシを作成するスキルも身に付ける Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 					
授業計画表	授業内容		授業内容			
	1 ガイダンス	19	ビジネスメールのルール			
	2 ガイダンス	20	Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法(アウトライン)			
	3 ガイダンス	21	図形の挿入			
	4 科目ガイダンス	22	画像の編集および表の挿入			
	5 文字入力の基本 1	23	画像の編集および表の挿入			
	6 文字入力の基本 2	24	Power PointでA4用紙1枚にチラシを作成)			
	7 ビジネス文書のルール	25	小テスト(Power Point 総合課題)			
	8 ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)			
	9 ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	表作成課題(四則演算/表の装飾)			
	10 インデント・タブの設定方法	28	表作成課題(相対参照と絶対参照)			
	11 表作成の基本	29	課題(計算、表の装飾、グラフ)			
	12 ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	30	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)			
	13 ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	31	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)			
	14 図の挿入および図形の編集	32	後期期末試験(Excel課題)			
	15 Word 総合問題 1	33	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り			
	16 Word 総合問題 2	34	ガイダンス			
	17 前期期末試験(Word課題)	35	ガイダンス			
	18 前期期末試験の解答解説及び後期振り返り	36	ガイダンス			
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P«課題解決型学習»50% R«実働実践型学習» A«主体的参加型学習»50% G«海外体感型学習»					
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けています。					

シラバス

科目名	CAD実習		担当者名	高井 英光				
学科	建築学科一級建築士・大学コース		授業方法	実習				
認定単位 開講学年	1.5単位 1学年	開講期 必・選	必修		授業時間数 54時間			
授業目的	2次元CADである「JWW」を使用し、図面読取および基本操作を学ぶ。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	CAD検定3級およびCAD検定2級合格レベルの技術を習得させる。							
授業概要	「階段平面図」・「通り芯・寸法・通り芯記号」・「柱・壁・間仕切壁」などおよび「平面詳細図」・「立面図」をCADを利用し作成させる。							
授業 計 画 表	授業内容		授業内容					
	1 オリエンテーション	19	平面詳細図Aの作図1					
	2 JWW-CADの基本操作1	20	平面詳細図Aの作図2					
	3 JWW-CADの基本操作2	21	平面詳細図Aの作図3					
	4 JWW-CADの基本操作3	22	立面図Aの作図1					
	5 「階段平面図」の作図1	23	立面図Aの作図2					
	6 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図1	24	立面図Aの作図3					
	7 「柱・壁・間仕切壁」の作図1	25	平面詳細図Bの作図1					
	8 「壁と窓」の作図1	26	平面詳細図Bの作図2					
	9 「階段平面図」の作図2	27	平面詳細図Bの作図3					
	10 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図2	28	立面図Bの作図1					
	11 「柱・壁・間仕切壁」の作図2	29	立面図Bの作図2					
	12 「壁と窓」の作図2	30	立面図Bの作図3					
	13 「階段平面図」の作図3	31	平面詳細図Cの作図1					
	14 「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図3	32	平面詳細図Cの作図2					
	15 「柱・壁・間仕切壁」の作図3	33	平面詳細図Cの作図3					
	16 「壁と窓」の作図3	34	立面図Cの作図1					
	17 CAD3級総合問題	35	立面図Cの作図2					
	18 確認テスト	36	確認テスト・まとめ					
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	成績表送付				
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上S90～100点A80～89 B70～79点C60～69点D59点以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》0%							
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了 全日本建築士会 1級建築士講座講師							